



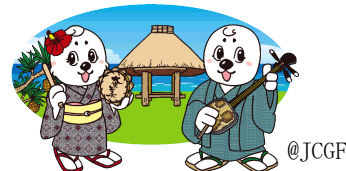
令和8年7月9日
奄美海上保安部

【問い合わせ先】

交通課長 室屋 貞敦

電話 0997-53-5569

FAX 0997-57-1253



令和8年度「海の事故ゼロキャンペーン」の実施について ～海難ゼロへの願い～

1 運動の趣旨

海難を防止するためには、海事関係者、漁業関係者はもとより、マリネジャーや海水浴客など、一般国民の皆様にも海難防止について関心を深めていただくことが極めて重要です。海上保安庁では全国一斉に「海難ゼロへの願い」をスローガンに官民関係者が一体となり、海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的として「海の事故ゼロキャンペーン」を実施することとしており、奄美海上保安部では次のとおり活動を実施します。

2 実施期間

令和8年7月16日（木）から31日（金）までの16日間

3 重点事項

- (1) 小型船舶の海難防止
- (2) 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
- (3) ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保
- (4) 発航前検査（気象・海象の事前確認を含む）の徹底
- (5) 遊泳中の事故防止（離岸流やスノーケリングなどの知識の普及）

4 活動内容

- (1) 奄美空港におけるマリネジャー事故防止活動（別途広報）
7月25日（土）13：30～
- (2) 管内の小・中学校での海上安全教室
- (3) ポスター・リーフレットを利用した周知啓発
- (4) 当部ホームページによる周知啓発
- (5) 船舶、漁業協同組合等を訪問しての周知活動
- (6) 巡視船のライトメールによる周知活動



キャンペーンモデル

2026 ミス日本「海の日」野口 絵子さん

重点事項

1 小型船舶などの海難防止

Prevention of marine accidents for small vessels

エンジントラブルが多発しています!!

プレジャーボートの海難で一番多いのがエンジントラブルです。エンジントラブルを防止するため、以下の事項を励行しましょう。

1.適切な発航前検査の実施

燃料、エンジンオイル、バッテリー、冷却水などの検査を確実にを行い、安全運航を心がけましょう。

また、家族やマリナー等に航海予定を伝え、万が一に備えましょう。

2.整備事業者等による定期的な点検整備の実施

「中古艇」は特に点検整備が重要です。整備事業者等に依頼し事故防止に備えましょう。

重点事項

2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

Thorough lookout and promotion of communication between vessels

なんといっても見張りが重要です!!

海難で一番多いのが衝突であり、原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」が多数を占めています。

1.常時適切な見張りの徹底

「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

2.船舶間コミュニケーションの促進

次により、早期に船舶間の意思疎通を図り、適切な操船を行いましょう。

- 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
- 国際VHFや汽笛信号などを活用する
- AIS情報の活用と正しい情報の入力

3.漁ろう中の船舶との衝突防止

漁ろう中の船舶は不測の動きをする場合があることから動静に留意し、早期かつ大幅な避航を心がけましょう。



重点事項

3

ライフジャケットの常時着用など 自己救命策の確保

Securing of self-rescue measures such as wearing a life jacket at all times

万が一、海に転落した場合、

①浮力の確保 ②連絡手段の確保 ③速やかな救助要請 という3点が必要不可欠です。



ライフジャケットの
常時着用



防水パック入り
携帯電話など
連絡手段の確保



緊急通報用
電話番号の
有効活用

海上保安庁では聴覚や発話に障害を持つ方を対象に、スマートフォンなどから入力操作で緊急通報が可能となる「NET118」というサービスを運用しています。

重点事項

4

発航前検査の徹底

（気象・海象の事前確認等を含む）

機関故障等で運航不能となる海難が増加しています!!

発航前には必ず、船体とエンジン回り、燃料の量、バッテリーの状態を検査するとともに、最新の気象情報や水路情報を確認しましょう！

◆発航前検査チェックリスト（発航前検査は、船長の義務です！）

○船体の検査

- ☐ 船体に亀裂や波口はないですか
- ☐ エンジンルームに船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか

○エンジンの検査

- ☐ 航海計画に見合った燃料は十分ありますか
- ☐ 燃料コック（バルブ）は開いていますか
- ☐ 燃料フィルタやセジメンター（油水分離機）にゴミや水分の混入はないですか
- ☐ エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか
- ☐ 冷却清水の量は十分ですか
- ☐ バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか

○救命設備等その他の検査

- ☐ ライフジャケットは着用しましたか
- ☐ 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか
- ☐ 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか

○エンジン始動後の状態確認

- ☐ 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか
- ☐ 冷却水の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか
- ☐ エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか

5

遊泳中の事故防止

遊泳中の事故が増加しています!!

マリンレジャーに伴う海浜事故の中で、遊泳中の事故が最も多くなっています。海の事故は命の危険を伴いますので、十分な注意が必要です！

○海では注意事項を守って楽しく遊びましょう！

- ☐ ライフジャケットを着用する
- ☐ 連絡手段を必ず用意しておく（防水パック入り携帯電話など）
- ☐ 複数人で活動する（やむを得ず単独で行動する場合は絶対に無理をしない）
- ☐ 飲酒したら絶対に泳がない
- ☐ 天気が悪い日、悪くなる予報の場合は泳ぎに行かない
- ☐ お子様から目を離さない

海で、事故無く、楽しく遊ぶために、「ウォーターセーフティガイド」をご活用ください！

- ◆「ウォーターセーフティガイド」とは・・・
- マリンアクティビティを、誰もが、安全に、安心して楽しめるように、事故防止のための情報を発信する総合安全情報サイトです。



 **Water Safety Guide**